

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

学位申請者	齋藤 あき 【ライフサイエンス専攻 平成24年度生】	要 旨
論文題目	体格および食選択に関連するライフスタイル因子の検討	<p>食行動は健康に影響する大きな因子であり、個人の嗜好から社会環境まで、広い範囲でライフスタイル因子の影響を受ける個人の行動である。本学位論文は、このような生活環境因子のうち、1) 収入や教育、職業といった社会経済因子、2) 外食行動、の2つの因子に着目し、これらの因子と、肥満や食選択の関連性を明らかにするために、横断的な検討を行なった結果を報告している。18歳以上65歳未満の日本人男女各1,200名余名を対象として検討を行った結果、1) については、教育レベルが男女ともに肥満に関連し、さらに女性では世帯収入も肥満に関連すること、また男性では世帯収入・教育レベル・就業状況・家族との同居などの因子が、野菜の摂取量の増加に関連する一方、女性では就業状況が、野菜や果物摂取量の減少に関連することを明らかとした。また2) については、女性では外食頻度が高いと肥満である確率が増加するものの、男性では同様の関連は見られないこと、また女性においては、外食頻度が高いほどエネルギー密度の低い野菜類・きのこ類・海藻類などの摂取が少なくなり、外食が肥満や食選択に与える影響は、男性に比較して、女性の方が大きいことを明らかとした。これらの結果は、日本人の健康維持や肥満制御のための食事を考える上で、どのような因子を考慮すべきかについて貴重な情報を提供するものである。</p>
審査委員	(主査) 准教授 飯田 薫子	
	教授 近藤 和雄	
	准教授 赤松 利恵	
	教授 鈴木 恵美子	
	准教授 須藤 紀子	